

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月30日	
名古屋市長 様	
提出者	
住 所 愛知県豊明市栄町武侍14-1	
氏 名 鹿島道路株式会社名古屋営業所	
所長 本吉 浩之	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0562-97-1315	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	鹿島道路株式会社名古屋営業所
事業場の所在地	愛知県豊明市栄町武侍14-1
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 ： 2388百万
③ 従業員数	57名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類（既設構造物撤去、舗装版撤去処分） 自社及び再生処理業者に委託して再生砕石・再生骨材として再資源化 ・廃プラ、金属くず、木くず 再生処理業者に委託して原料、材料として再資源化及び最終処分 ・混合廃棄物 再生処理業者に委託して原料、材料として再資源化及び最終処分

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

名古屋営業所長

- ・本店
建設副産物管理委員会委員長（生産本部長）
本店建設副産物管理委員会
安全環境品質事業部
- ・支店長
支店建設副産物管理委員会
総括建設副産物管理委員会
工事部安全環境品質課
- ・営業所長
建設副産物管理者（名古屋営業所長）
- ・担当者
現場建設副産物責任者
- ・合材製造所長
産業廃棄物処理施設字術管理者（各務原 知立 静岡）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） リサイクル工法の推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） リサイクル工法の推進継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・がれき類は完全に分別が出来ている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃プラは少量でも分別する。 ・混合廃棄物は出来る限り選別する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
		認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
		認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) ・ 委託先処理業者には定期的に実施する。 ・ 廃プラは再生処理業者への委託継続推進。		
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

【前年度(5 年度)実績】

	廃棄物の種類	がれき類	がれき類	混合廃棄物	鋳さい						
	名称(任意の名称を記入してください)	アスガラ	コンガラ								
①	排出量(t)	2,309	383	20	1143						
②	自ら再生利用を行った量(t)	593	7	0	0						
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0						
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0						
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0						
⑩	処理委託した全量(t)	1716	376	20	1143						
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	0	0	0						
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	1716	376	10	1143						
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0						
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0						

別紙2

【今年度（ 6 年度）計画】

	廃棄物の種類	がれき類	がれき類	混合廃棄物	鉱さい						
	名称(任意の名称を記入してください)	アスガラ	コンガラ								
①	排出量(t)	2,000	200	0	0						
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0						
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0						
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0						
⑦	自らの中間処理による減量(t)	2,000	200	0	0						
⑩	処理委託する全量(t)	0	0	0	0						
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	0	0	0						
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0	0	0						
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0						
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0						